

ホスピタリティをステップアップ！
サービス業の現場で導入が進む資格

岡山県初登場！

サービス介助士2級検定 受講前講座説明会 &実技教習会開催

サービス介助士2級資格取得者は、現在約8万人。
約700の企業・団体で導入されています。
学生時代に取得する人も多くいます。



ジェロ博士

- 受講前講座説明会(参加無料 定員:100名)
日時:平成23年11月29日(火)16:00~17:00
- 実技教習会(有料 定員:20名程度)
日時:平成24年1月21日-22日(土日)9:30~17:00

会場:ちゅうぎん駅前ビル4階ホール(岡山市北区本町2-5)

高齢社会の到来を受けて、お客様を迎える側にも状況や一人一人に応じた多種多様なサービスが求められてきています。「サービス介助士」は、「おもてなしの心」と「正しい介助技術」を身につけたスペシャリスト。ホスピタリティ溢れる社会人を目指して学んで見ませんか。

実技教習の内容

右の他に、ユニバーサルデザイン、補助犬、ジェロントロジーの考え方、聴覚障がいをお持ちの方への介助法なども学びます。



高齢者疑似体験

白内障ゴーグルや耳栓、おもりをつけて街に出ます。



接遇

言葉づかいや挨拶の仕方などを学びます。



車いすの操作

段差や坂道などでの車いすの使い方を学びます。



移乗

いすから車いすへの移乗の仕方などを学びます。



衣服の着脱

片まひの方への衣服の着せ方、脱がせ方を学びます。



手引き

視覚障がいのある方への道案内などを学びます。



点字

点字の読み方、書き方を学びます。

サービス介助士2級 受講料(1名様)39,900円(税込)(通信課程・実技教習課程・検定料等含む)

【資格に関するお問い合わせ】

NPO 法人日本ケアフィットサービス協会 大阪事務局

TEL:06-6262-8663 FAX:06-6265-6262

URL: <http://www.carefit.org>

住所: 541-0054 大阪府中央区南本町2-4-10 301号

E-mail: osaka@carefit.org

URL



Eメール



〈日本ケアフィットサービス協会とは〉

日本ケアフィットサービス協会は、こうした状況を踏まえ、ジェロントロジー(創齡学)の考え方を基本に高齢な方・お体の不自由な方・子どもたちが安心できる社会的・心理的環境づくりを目的として設立されました。

後援:株式会社中国銀行 協賛:大学コンソーシアム岡山

学生時代にサービス介助士2級を取得された方の声



K短期大学在学中に取得 ホテルに就職 フロント勤務 S. Tさん

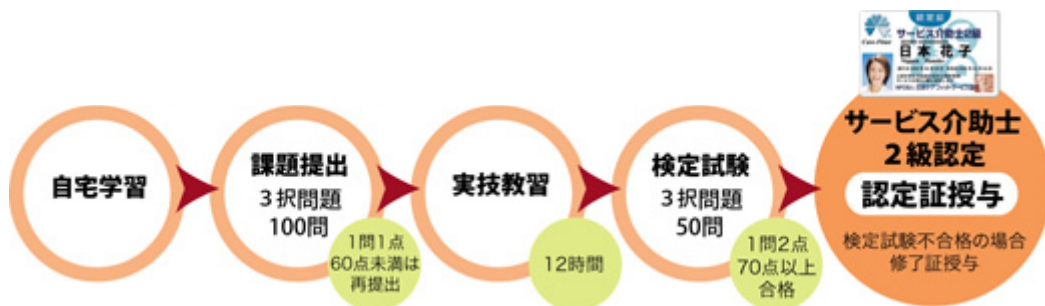
サービス介助士の資格を取得しようと思ったのは、サービス業に就くにあたり、より役立つ資格を取得したいと考えていたところ、短期大学で資格取得の募集があり、興味がわいたことがきっかけです。

以前は、高齢の方を見かけると、立ち上がることや文章を読むことは大変なのだろうなと思うことはありましたが、実際にサービス介助士の実技教習を受けた時の高齢者疑似体験で、電話のボタンを押したり階段を上り下りすることがひと苦勞で、「こんなに辛い思いをしているのだな、体験してみないとわからないな」と思いました。それから、初めて車いすを動かすことで不安だったのですが、インストラクターの方々の実演等でわかりやすく指導していただき、よく理解することができました。車いすに座ってみて、座っている人がどんな視点で、どんな気持ちでいるのか知ることができました。

就職の面接時に、面接を担当される方にサービス介助士の資格について関心を持っていただけただけで、「サービス業でも介助できることは必要である」ということや自分自身をアピールでき、とてもよい資格だと思えました。

現在の仕事では、車いすをご利用されるお客様をお部屋までご案内する時や、高齢の方がロビーからお部屋まで行き来するのをお手伝いする時などに、サービス介助士で学んだ知識や技術が活かされているので、本当に学んで良かったと思っています。

【受講の流れ】



サービス介助士2級テキストの内容

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1. サービス介助士の基本理念 | 5. バリアフリーとユニバーサル・サービスの基本知識 |
| 2. 高齢社会の理解 | 6. ホスピタリティ・マインドと接客技術 |
| 3. 高齢な方への理解と介助方法 | 7. 超高齢社会を迎えての法規等の凡例 |
| 4. 障がいがある方への理解と介助方法 | |



東京都交通局



日本航空

サービス業の現場で急増中！

サービス介助士を導入している企業は、金融、交通、流通、宿泊、教育など全国で約700団体。サービス業では接客部門の全員に取得を義務づけている企業もあります。

(導入企業一例)

- ・金融:みずほ銀行/京都信用金庫/千葉銀行 ふうおかフィナンシャルグループ
- ・イオングループ:ジャスコ全店長が取得
- ・NTTドコモ:ドコモショップ各店配置
- ・東京トヨタ/福岡トヨタ:全店に配置など

また、行政での導入も増えてきています。

導入企業は約700団体!

(例)網走社会福祉協議会・金沢市内灘町職員

東京都交通局・大阪市交通局・町田市田辺市雇用創造促進協議会など

大学、短大、専門学校での導入、公開講座等にサービス介助士の学びは多数採用されています。



東日本旅客鉄道



日本空港ビルディング



全日本空輸